

9番 小野 泰 議員

1 行政組織におけるグループ制導入について

国・地方ともに財政状況は厳しく、国はこの解決方法として市町村合併を推進してきた。しかし、市町村合併による首長や議員、各種行政委員、さらに職員も削減し経費削減をしてきたものの景気の低迷による税収の伸び悩みなどで、財政状況は依然として好転することなく未だに厳しい財政運営を強いられている。

最近の行政需要は極めて多様化しており、内容も全体として複雑高度なものとなっている。これらの行政需要は、縦割りの組織にまたがって発生するものも多く、しかも効果的な解決には広い視野に立っての協調や連帯の機能が必要となっている。

このため、縦割り組織の弊害を可能な限り解消し、既存の組織の枠にとらわれない機能重視の機構に改め、行政の総合力の向上を図り、より弾力的、機能的な組織運営を推進するため、グループ制導入を検討する必要があると考える。

そして、最小の人数で最大の住民サービスの提供を実現しなければならないと考えるが市当局としてのお考えをお聞きします。